

# 小平町子ども読書活動

## 推進計画

平成24年度～平成28年度



ブックフェスティバル

平成24年3月  
小平町教育委員会

# もくじ

第1章 計画の基本的な考え方	1～3
1 子ども読書計画推進の意義	1～2
2 計画の目的	3
3 計画の基本方針	3
4 計画の対象と期間	3
第2章 子どもの読書活動の現状とその推進	
1 家庭・地域における読書活動の推進	4～5
(1) 現状	4
(2) 今後の方向性と具体的な取り組み	4～5
子育て支援事業と連携した「読み聞かせ活動」に対する支援	4
「家読(うちどく)」活動の推進	4
子どもの読書活動を指導する大人への支援	4
児童・生徒の発達段階に応じた読書支援を行うための情報提供の推進	5
2 文化交流センター図書室・鬼鹿公民館図書室における読書活動の推進	6～7
(1) 現状	6
(2) 今後の方向性と具体的な取り組み	6～7
乳幼児、児童・生徒の発達段階にそった良書を収集する	6
企画展示の実施を通じた選書しやすい環境づくり	6
「図書だより」や「子育てサロン」を通じた情報提供	6～7
蔵書検索システム、北海道立図書館や他の市町村立図書館と 連携したサービスの向上	7
親しみやすい図書室づくり	7
文化交流センター内の諸室の機能・資源を活用した 「メディアセンター」としての役割の強化	7
3 幼稚園・小中学校における読書活動の推進	8～9
(1) 現状	8
(2) 今後の方向性と具体的な取り組み	8～9
朝読の継続	8
ブックフェスティバルの実施	8
本の紹介や情報提供	8
読書感想文コンクールの継続実施	8
文化交流センター図書室との連携	8～9
4 関係機関との連携による読書活動の推進	9
第3章 施策の推進について	10
1 小平町における推進体制	10
2 達成目標	10
資料編	11～36
1. 子どもの読書活動推進に関する法律	12～14
2. 子どもの読書活動に関するアンケート(平成23年10月実施)	15～36
町内小学3・6年生児童, 中学2年生生徒	15～25
町内小学3・6年生児童の保護者, 中学2年生生徒の保護者	26～32
町内幼稚園年少児保護者	33～36

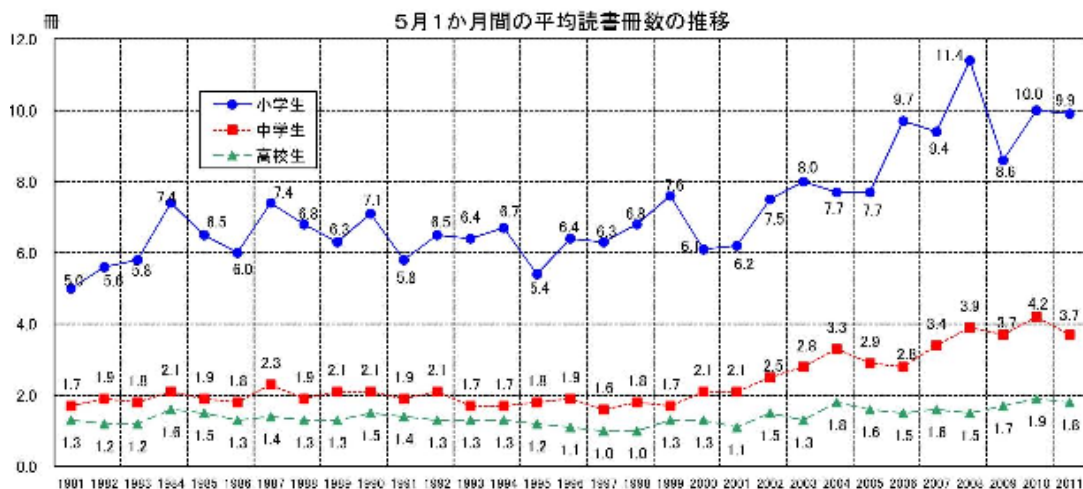
# 第1章 計画の基本的な考え方

## 1 子どもの読書活動推進の意義

子どもの読書活動は、平成13年12月には「子ども読書活動推進法」が公布され、4月23日が「子ども読書の日」と制定され社会的な関心が高まっています。「子ども読書活動推進法」によると、子どもの読書活動は「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものとし、人生をより深く生きる力を身につける上で欠くことができないもの」であるとしています。この法律に基づき平成14年8月「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定され、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備を推進することを基本理念とする基本計画が策定され、国及び地方公共団体等により取り組みがなされ、現在は平成20年に策定された第2次の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」によって諸施策が実施されているところです。

こうした施策の効果もあって平成21年5月に行われた調査（社団法人全国学校図書館協議会と毎日新聞社が共同で実施している第57回読書調査による）によれば、児童生徒の1ヶ月の平均読書冊数は、小学生が9.9冊、中学生が3.7冊、高校生が1.8冊と年々向上を遂げているものの、依然として1冊も読まなかった子どもたちの割合（いわゆる不読率）は小学生6.2%、中学生16.2%、高校生50.8%となっており、中学校以降極端に読書量が減少する傾向を示しています。本町において平成23年10月実施したアンケート調査（町内の中学2年生、小学3・6年生全員を対象とした抽出によるアンケート調査）によると、平成23年9月1ヶ月の読書冊数は町内小学3・6年生において全国平均並の読書者（9冊以上）は20名（母集団42名）で全体の約48%、町内中学2年生においては全国平均並の読書者（3冊以上）は13名（母集団は27名）で全体の約48%に過ぎなかったことから全国平均を下回る傾向にあり、不読者数でも町内3・6年生で7%と全国平均をわずかに上回り、町内中学2年生では11%と全国平均を若干下回るといった結果となっています。

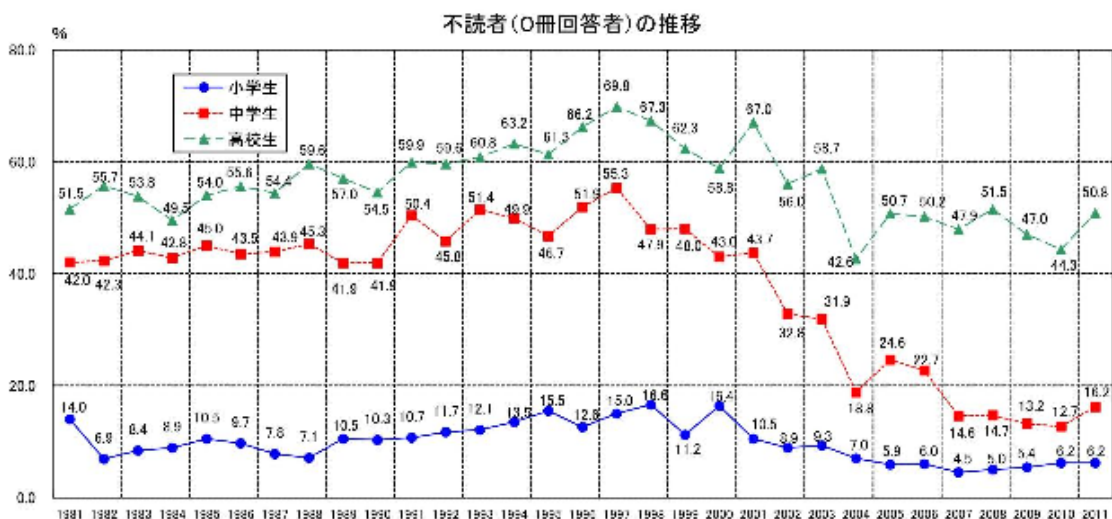
また、経済協力開発機構（OECD）が実施した生徒の学習到達度調査によれば、「趣味としての読書をしなない」と答えた生徒は、平成12年では55%（OECD 諸国平均では31.7%）から平成21年は44.2%（OECD 諸国平均では37.4%）と減少し改善をみてきたものの、OECD 諸国平均と比べて依然として高い状況にあります。



（出典）第57回読書調査（全国学校図書館協議会・毎日新聞社）全国学校図書館協議会 HP より

こうしたなかで、北海道も平成15年「北海道子どもの読書活動推進計画」を策定、現在は平成20年に第二次計画『次代を担う子どもの心をはぐくむ北の読書プラン(北海道子どもの読書活動推進計画)』が策定され、現在に至っています。第二次計画は「北海道のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にその環境の整備を図」ることを基本理念とし、これを受けて平成21年には留萌教育局においても「留萌管内子ども読書推進計画」が策定され、道・管内をあげ子どもの読書活動の推進が教育政策における重要な課題となりました。小平町においても平成22年3月策定の「小平町第5次社会教育中期計画」において、平成23年度中に「子ども読書推進計画」策定を進めることが計画されています。

テレビ、ビデオ、インターネット等の様々な情報メディアの多様化やその普及による子どもの生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの「読書離れ」が指摘されている昨今の状況を鑑み、本計画は法と各種の推進計画の理念を尊重し、かつ本町の子ども読書環境を総合的かつ計画的に整備するための第一次計画として策定するものです。



(出典)第57回読書調査(全国学校図書館協議会・毎日新聞社) 全国学校図書館協議会 HP より

## 2 計画の目的

小平町の子どもたちが、それぞれの子どもの発展段階に応じて、広く知識を求め主体的に読書を楽しむ態度を涵養し、情報化・多様化する現代社会において「生きる力」を育むことができるよう、町や関係機関さらには身近な大人たちの協働により、読書環境の整備を進めることを目的とします。

## 3 計画の基本方針

- ( 1 ) 家庭・地域における読書活動の推進
- ( 2 ) 文化交流センター図書室・鬼鹿公民館図書室における読書活動の推進
- ( 3 ) 幼稚園・小中学校における読書活動の推進
- ( 4 ) 関係機関の連携による読書活動の推進

## 4 計画の対象と期間

この計画は、主たる対象は子ども（0歳から18歳）ですが、子どもを取りまく大人たち、一般町民の協働を前提としているため、対象は広く町民一般とします。期間は平成24年から同28年とし、内容については計画の進展等に伴い改善するよう努めることとします。

## 第2章 子どもの読書活動の現状とその推進

### 1 家庭・地域における読書活動の推進

#### (1) 現状

「子どもの読書活動に関するアンケート」によると、「どのようにすれば子どもがもっと本を読むようになるとお思いますか」との問いに、「家庭で本を話題にする」を選択した保護者は、幼稚園年少児保護者で18%（全体の3位）、小学生3・6年生保護者で19%（全体の2位）、中学2年生保護者で18%（全体の2位）となっており、「家庭」の中で読書を話題にすることが必要と保護者が感じていることがわかります。

また、同じ設問で「大人が本を読む（読んでいる姿を見せる）」を選択した保護者は、小学生3・6年生保護者で15%（全体の4位）、中学2年生保護者で18%（全体の2位）、幼稚園年少児保護者では11%（全体の4位）ですが「読み聞かせの時間を増やす」は29%（全体の1位）で、「読み聞かせを含め大人自身の主体的な読書活動への関わりが子どもの読書活動の推進に重要だ」と感じる保護者が多いことがわかります。

#### (2) 今後の方向性と具体的な取り組み

子育て支援事業と連携し、「読み聞かせ」活動に対する支援

「読み聞かせ」は、子どもの読書活動の導入として重要なだけでなく、「人の話を聞く」姿勢や態度を身につける上で有効であるとされています。

本町では、「ブックスタート」を実施し、「本」を通じた親子のふれ合いの大切さを意識づける取り組みを既に行っており、「読み聞かせボランティア」はありませんが、「子育てサポーター」がこの役割を担っています。こうした「子育てサポーター」の支援を通じて、家庭や地域における「読み聞かせ」活動の普及と振興をはかります。

- ・ブックスタート
- ・子ども読書の日を記念する「おはなし会」の実施
- ・「読み聞かせ」の普及・振興

「家読（うちどく）」運動の推進

家で親子で本を読む「家読（うちどく）」活動など、読書に親しむ環境づくりに努めます。

「ノーゲームデー」など、児童・生徒の生活習慣の改善を通じ、本に親しむ取り組みを支援します。

子どもの読書活動を指導する大人の支援

子どもが読書習慣を身につけるために、保護者のみならず地域の大人による指導や支援が不可欠です。こうした子どもの読書活動を指導する保護者や地域の大人が図書を選びやすくするために図書展示の充実など適切な情報提供を進めます。

- ・読み聞かせ活動を行う「子育てサポーター」や保護者の活動を支援します。
- ・保護者や地域の大人が読書支援を行えるよう情報提供に努めます。
- ・良書の収集に努め、「図書だより」等を通じ広くPRに努めます。

児童・生徒の発展段階に応じた読書支援を行うための情報提供の推進

- ・「子育てサポーター」や読み聞かせを行う保護者の活動の支援
- ・学年に応じた推薦図書企画展示の実施
- ・保護者や地域の大人が子どもの読書活動に関心を持ってもらえるよう PR に努めます。
- ・読書習慣を身につける家庭教育の推進のため情報提供に努めます。

## 目標を決めて、ステップアップする読書を！

子どもの「読書習慣」は、心豊かに現代社会を生き抜く上で重要な資質の1つです。家庭や地域においても、まわりの大人が「大人の責任」として指導していくことが必要です。

### 【まわりの大人のみなさんへ】

- ・「新聞」で構いません。活字を読んでいる姿を子どもに見せてください
- ・一歩進んで、子どものお手本になるつもりで本を読んでみてください
- ・本のことを、子どもともっと話してください。

### 【段階的な習慣づけを】

- ・児童・生徒の実態や発展段階を一番知っているのは、保護者のみなさんです。自らが「子どもの読書の導き手」となって、読書の質と量がステップアップするように努めましょう。
- ・興味関心の幅を広げてあげるのは大人の役割です。「子どもとの会話」を通じて児童・生徒の好奇心を刺激してあげてください。
- ・親子で目標を作って。出来たときには、ほめてあげてください。  
子どもの頃の読書経験は自信につながります。時には長い本、難しい本にもチャレンジさせてください。「こんな長い本も読めたよ。難しいけど読めたよ」そんな時にはほめてあげることも忘れないでください。



## 2 文化交流センター図書室・鬼鹿公民館図書室

### における読書活動の推進

#### (1) 現状

本町の公共図書室は、文化交流センターと鬼鹿公民館に設置しており、文化交流センターには管理人1名を置き、各種研修会に参加させるなどして資質の向上に努めています。

蔵書数は、文化交流センターで10,886冊、鬼鹿公民館で3,996冊(平成23年末現在)。年間の貸出数は、文化交流センターで7,450冊(平成23年1月~12月)、鬼鹿公民館で1,150冊(平成22年度)となっています。

平成23年に、文化交流センター図書室は利用者の利便性の向上のため蔵書管理システムを電算化し、蔵書検索・貸出等の図書管理をコンピューターで行えるようにしました。平成23年12月末現在で、文化交流センター図書室貸出カードの発行数は268枚で、住民3,640人(平成23年12月末現在)の7.3%にあたり、利用者の拡大が課題となっています。

「子どもの読書計画に関するアンケート」によると、「文化交流センターや鬼鹿公民館図書室に月に何回ぐらい行きますか」との問いに、小学生では35%、中学生では65%が「0回」としている。行かない理由について、「学校以外の図書館は遠い」「忙しい」「学校から借りた本で間に合う」などがあげられています。魅力ある図書室づくりもさることながら、「学校から借りた本で間に合う」との答えについては、間に合わせているという側面も否めず、「調べ学習」の支援という意味では「学校から借りた本で間に合わせる」では不十分な部分もあると思われるので、図書室の活用を呼びかけるとともに、レファレンス(参考調査)を強化するなど対応が必要となっています。

#### (2) 今後の方向性と具体的な取り組み

乳幼児、児童・生徒の発達段階にそった良書を収集する

- ・乳幼児、児童・生徒の発達段階にそった良書をバランスよく収集する。(以下に例示)

ア．乳幼児の読み聞かせに適した絵本

イ．小中学校の授業に準拠したもの、発展的な内容の読み物の収集

例えば、学習マンガ、自然科学の知識など子どもの「なぜ」に答える図書、伝記など

ウ．少年少女文学の名著

エ．社会や自然の知識について、児童生徒向けに簡潔平易に書かれた図書(ジュニア新書等)

オ．社会や自然の知識についてのトピックを、一般向けに短く著したブックレットなど

カ．概ね高校生以上の一般人向けに書かれ、社会や自然の知識の獲得に役立つ新書など

キ．調べ学習に役立ち、図書室等でなければ収集できない図鑑などの高価な本

企画展示の実施を通じた選書しやすい環境づくり

- ・学年や年齢にあわせた推薦図書を集めた図書企画展示

「図書だより」や「子育てサロン」を通じた情報提供

- ・「図書だより」を通じて、新着本の案内や地域住民へ読書に関する情報提供を充実させる。



- ・「子育てサロン」において、「読み聞かせ」を実施し、「読み聞かせ」の啓発や本の楽しさを体験する機会を提供する。

蔵書検索システム、北海道立図書館や他の市町村立図書館との連携によるサービスの向上

- ・蔵書検索システムを活用し、よりスピーディで的確に学習者の要望にあった図書の提供に努めます。
- ・適切な本との出会いを支援する「レファレンス(参考調査)」を北海道立図書館など上位館と連携して実施。学習者の高度化・多様化する要望に応えます。

親しみやすい図書室づくり

- ・図書展示の実施や町民文化祭とあわせて実施する「本のリサイクル市」など各種イベントを実施する

文化交流センター内の諸室の機能・資源を活用した「メディアセンター」としての役割の強化

情報メディアの多様化により、学習資源も多様化していることから、図書館(室)には「メディアセンター」としての役割が求められています。

- ・図書以外で町の歴史やあゆみの記録となるパンフレット類の収集。
- ・文化交流センター図書室においては、「調べごと」利用のためにインターネットを利用させる。
- ・文化交流センター図書室において、インターネット利用は「調べごと」以外での遊びやゲームなど娯楽での利用を制限するため、使用時間に制限を設ける。
- ・文化交流センター図書室において、インターネットにはフィルタリング(有害サイトアクセス制限)を実施する。
- ・学習や子どもの情操に有益な視聴覚教材(映像メディア・音声メディア)の収集を検討し、文化交流センターの諸室の機材・機能を活用して利用を図る。
- ・視聴覚教材の活用においても、児童・生徒の読書活動に結びつくよう、関連する絵本や小説本を紹介するなど適切な配慮を図る。

### 3 幼稚園・小中学校における読書活動の推進

#### (1) 現状

##### 1 幼稚園

小平幼稚園・鬼鹿幼稚園ともに、毎日の生活時間割の中で絵本の「読み聞かせ」を積極的に実施している。

##### 2 小学校

小平小学校・鬼鹿小学校とも「朝読(朝の読書の時間)」を設けたり、各学級に学級文庫を設けたりして、子どもの読書習慣の定着と読書活動の推進に取り組んでいる。先生が子どもの頃読んだ本について子どもに話して聞かせる「読書交流会」等の活動を通じて、読書活動の啓発と選書の支援を実施している。

夏の長期休業中には、読書感想文の課題を課し、小平町教育委員会主催の読書感想文コンクールに参加している。

##### 3 中学校

小平中学校・鬼鹿中学校においても、「朝読(朝の読書の時間)」を実施。先生が子どもの頃の読書体験を語るなどして、読書活動の啓発と選書の支援に取り組んでいる。

夏の長期休業中には、読書感想文の課題を課し、小平町教育委員会主催の読書感想文コンクールに参加している。

#### (2) 今後の方向性と具体的な取り組み

##### 朝読の継続

- ・ **子どもの読書の習慣化のための取り組みとして、朝読を継続し、本を読む楽しさや充実感を児童生徒が実感出来るように努めます。**

##### ブックフェスティバルの実施

- ・ **子どもが本に親しみ、図書室に行くきっかけづくりとするため、小平町教育委員会・北海道立図書館との連携のもと、ブックフェスティバルを継続実施する。**

##### 本の紹介や情報提供

- ・ **学習のあらゆる機会において、学習に役立つ図書や読書体験について紹介したり、話して聞かせる機会を設けるよう努めます。**

##### 読書感想文コンクールの継続実施

- ・ **町内の小中学生を対象に、小平町教育委員会が主催している読書感想文コンクールに参加させる。**

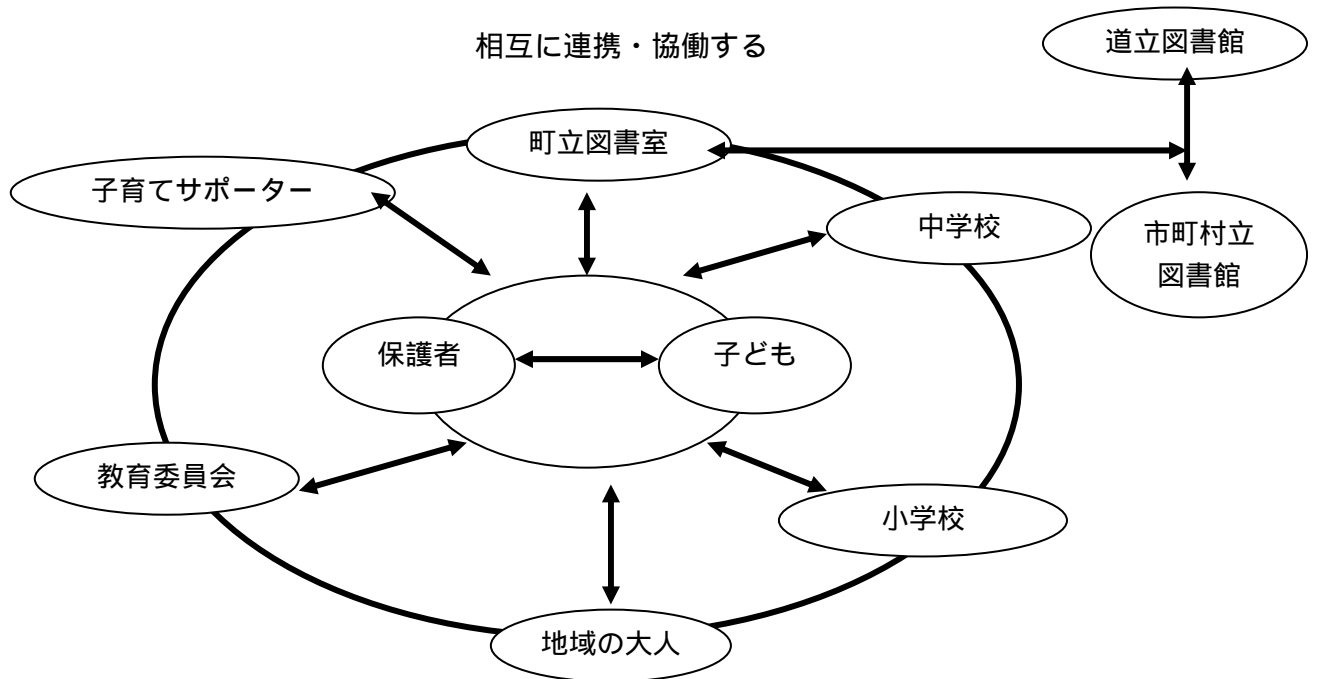
##### 文化交流センター図書室との連携

- ・ **学校図書館にない図書については、文化交流センター図書室からの貸出や道立図書館から**

の大量一括貸出等の制度を利用し、児童・生徒が図書と出会う身近な窓口としての機能を高めます。

#### 4 関係機関の連携による読書活動の推進

現在、家庭と地域、町立図書室、学校、子育てサポーターや関係諸機関が連携し、それぞれ読書活動の推進に取り組んでいます。今後も密接かつ有機的な連携を密にし、推進体制を強化する必要があります。



小平町子ども読書推進計画における推進体制概念図

## 第3章 施策の推進について

### 1 小平町における推進体制

子どもの読書活動推進にあたって、計画にかかわる諸団体・機関は密接な連絡調整と協力体制をとりながら、効果的な施策を推進します。

計画にかかわる家庭・地域・学校・団体・行政は、「生涯学習」の視点と「協働」の精神に基づいて施策を進めるように努めます。

### 2 達成目標

「小平町子ども読書推進計画」の実現に向けた施策を展開するにあたって、進捗状況と効果を把握するため、下記の通り達成目標を設けます。

- (1) あなたは本を読むのが好きですかと聞かれて「好き・どちらかという好き」と答える児童生徒の割合

	小学校 3・6年生	中学校 2年生
基準値 (平成23年)	72%	82%
目標値 (平成28年)	90%	90%

## 資料編

1. 子どもの読書活動の推進に関する法律
2. 子どもの読書活動に関するアンケート  
(町内小学3・6年生児童，中学2年生生徒)  
(町内小学3・6年生保護者，中学2年生保護者)  
(町内幼稚園年少児保護者)

## 子どもの読書活動の推進に関する法律

### (目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

### (基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

### (国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

### (地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

### (事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

### (保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

### (関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

- 2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

- 2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。
- 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。



#### 衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことできる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 五 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

## 子どもの読書活動に関するアンケート（町内小学3・6年生，中学2年生）

今回のアンケートでは、各学年とも同じ調査票を用いてアンケートを行った。

### 1．学年を教えてください

今回対象とするアンケートの母集団は、町内の小学3年生20名、小学6年生24名、中学2年生27名である。回答数は小学3年生で19名（回答率95%）、小学6年生で23名（回答率96%）、中学2年生で27名（回答率100%）となっている。

### 2．性別を教えてください

小学3・6年生（以下小学生と略す）で男子23人（55%）、女子19人（45%）、中学2年生（以下中学生と略す）で男子15人（56%）、女子12人（44%）。小学校・中学校とも男女の構成比には大差ない。

### 3．あなたは本を読むのが好きですか

小学生において、「好き・どちらかという好き」と答えた割合が72%となっており、概ね読書習慣があるとみることが出来る。「どちらかという嫌い・嫌い」と答えた28%に対してのアプローチが課題として見て取れる。

中学生においては、「好き・どちらかという好き」と答えた割合が81%におよんでおり、さらに学年を経て読書習慣の浸透してきているとみられるが、今後は読書の質という視点からの検証も必要と思われる。

### 4．本を読むのが「好き・どちらかという好き」と答えた人へ。あなたが本を読むのが好きになったきっかけは何ですか？

小学生では、要因の第1位に「小さい頃、本を読んでもらった」「学校で読書をするようになったから」があげられる。家庭や幼児教育や学校の中で進められてきた「読み聞かせ」や「朝読」などの学校での読書活動支援の取り組みが読書習慣を身につけさせる入り口戦略として効果を上げていることがうかがえる。

中学生の第1位には、「本屋さんや図書室（館）につれていってもらったから」があげられているが、こちらは学年があがるにつれて「本との接触の頻度」が読書習慣の定着に役立つからと考えられる。こうした読書環境の整備が課題として把握される。

### 5．小さい頃読んだ絵本のうち、思い出に残っているものは何ですか

こちらは、今後の「読み聞かせ」や読書指導の参考とするための設問。昔話や童話、最近の絵本まで幅広くあげられている。思い出に残った本と問われて大多数の児童・生徒が記入する状況から、「読み聞かせ」や図書室における児童書の整備や読書指導が一定の効果を上

げているとみることができる。

6. あなたは、本の「読み聞かせ」をしてもらったことがありますか

小学生、中学生ともに、「してもらったことがない」との回答は少数（小学生4%、中学生13%）で、児童生徒の成長にかかわるあらゆる場面で「読み聞かせ」が浸透している実態がみてとれる。「読み聞かせ」の場面としては、多くは「家庭」（小学生34%、中学生42%）、学校（小学生41%、中学生34%）となっており、行政やボランティアが担っている「文化交流センター・健康福祉センター」での読み聞かせは上位にはあがってこないものの（小学生21%、中学生11%）、着実に児童生徒の記憶に残っているとともに、家庭での「読み聞かせ」のきっかけや選書の参考等になっていることから一層推進していく必要がある。

7. あなたはどんな内容の本が好きですか

こちらは、児童生徒の読書傾向を知り選書の参考とするため設けた設問。小学生・中学生とも最上位は「小説や物語」（小学生16%、中学生32%）となっている。小学生では、ゲーム関係の本（15%）と図鑑（11%）の割合が高いことも特徴的で、高価な本も多く社会や自然の理解に役立つ図鑑類は需要が高く集書に努める必要がある。中学生では、ノンフィクションを上げる割合が高いことも特徴的で、ノンフィクションの内容は精査する必要があるが一定の「社会的な問題への関心の高まり」ともみてとれるので、読書の幅を広げる取り組みが求められる。

8. あなたは平成23年9月の1ヶ月間に何冊の本を読みましたか（マンガは除きます）

小・中学生とも、1～2冊の読書を行った割合（小学生40%、中学生22%）が一番高かった。0冊という児童生徒も少数ながら存在し（小学生11%、中学生7%）、何らかの支援が必要と思われる。読書の量と質の向上に向けた支援は今後も必要である。

9. 8で「0冊」と答えた人へ質問です。本を読まなかった理由を教えてください

0冊と答えた児童生徒が少なかったため、若干信頼性に疑問は残るが、「理由があって読めない」（小学生・中学生とも33%、2人）よりも「本を読みたいと思わない」（小学生・中学生とも67%）が多数を占め、0冊と答えた人の多くは本嫌いの児童生徒であった。

10. 9で「理由があって読めない」と答えた人へ質問です。その理由は何ですか

小・中学生とも回答が1人に過ぎず、信頼性に疑問は残るが小学生においては「部活動やスポーツ少年団」、中学生においては「勉強や学習塾」があげられた。児童生徒の多忙化が背景の一端とみられる。

### 11-1. あなたは月に何回学校の図書室を利用しますか

小・中学生とも、「1～10回」の回答が多い（小学生52%、中学生72%）。中学生では11回以上とする回答がないのに対して、小学生では11回以上と回答する層が37%もあり、小学生では図書室の利用頻度が高いことは注目される。しかし、小・中学校とも利用しない児童生徒があることから、一定の関わりが必要になると思われる。

### 11-2. あなたは月に何回文化交流センター図書室や鬼鹿公民館図書室を利用しますか

小学生は「1～10回」の回答が多い（小学生62%）。中学生は「0回」が多くなる（中学生65%）。特に鬼鹿中学校では80%の生徒が利用しておらず、さらにこのうちの半数が「学校から借りた本で間に合う」と答えていることからこの年代に対応した図書がないなど使い勝手の悪い図書室となっている可能性がある。公共の図書室は大人になってから図書館（室）を利用する上での経験を培い、多くの図書や知識に触れる窓口であるので、運用・整備両面から検討する必要がある。

### 12. 月に何回文化交流センター図書室や鬼鹿公民館図書室に行く回数が「0回」と答えた人に質問です。これらの図書室に行かないのはなぜですか

小学生については、各項目分散して回答があり、これといって大きな原因はないようであった。しいて言えば、「学校以外の図書館は遠い」という距離の問題、「学校から借りた本で間に合う」という行く必要性を感じていないケース、「忙しい」などであった。

中学生については、「忙しい」「学校から借りた本で間に合う」などであった。

「調べ学習」を行えば、「学校の本では足りない」「図書室の本では足りない」といった広がりを持った学習が進めば、より高い学習効果も生まれると思われる。図書室の利用や相互貸借やレファレンスなどのサービスを通じ、活用いただけるよう呼びかけていきたい。

### 13. あなたが本を選ぶとき、何を参考にしますか

小学生では、「書店や図書館で実際に本を開いてみて（26%）」「家族のすすめ（16%）」「友達のすすめ（16%）」「新聞や雑誌を見て（11%）」「図書室職員のすすめ（13%）」「先生のすすめ（9%）」となる。実物を見て決める児童が多いことから、子どもの読書活動の支援に際して図書室整備の重要性は大きい。また、読書の質的な向上のため、「家族・図書室職員・先生」など影響力のある周りの大人の関与も重要と思われる。

中学生では、「書店や図書館で実際に本を開いてみて（25%）」「友達のすすめ（20%）」「雑誌や新聞（18%）」が多数を占める。一方で「家族・図書室職員・先生」など影響力のある周りの大人の関与が著しく低下している。生徒の発達段階によりやむを得ない部分のあるが、発達段階に応じた読書指導の必要性は変わらないと思われるので何らかの対応が必要と思われる。

14. あなたはふだんの生活で、どのように時間を過ごしますか

この設問は、対象者の生活実態の把握が目的である。「あてはまるものすべて」を回答することとしているので「回答数/全回答者」の値を参考にみていく。

小学生の主なものでは、「家族と過ごす(69%)」「ゲームで遊ぶ(59.5%)」「テレビ・ビデオ・DVDをみる(57.1%)」「友達と遊ぶ(54.8%)」「寝る(50%)」「部活動・スポーツ少年団活動をする(40.5%)」「習い事をする(35.7%)」の順となり、「読書をする」は19%にとどまった

中学生で主な回答は、「ゲームで遊ぶ(77.8%)」「寝る(70.4%)」「部活動・スポーツ少年団活動をする(63%)」「テレビ・ビデオ・DVDをみる(51.9%)」「家族と過ごす(44.4%)」「友達と遊ぶ(40.7%)」「インターネット(パソコン)をする(40.7%)」と続いた。「読書をする」は33.3%にとどまった。

ふだんの生活の中で、読書が習慣化している児童生徒は少ないとみられるので、意識づけの方策を考える必要がある。

15. 知っている言葉、使ったことのある言葉、聞いたことのある言葉を教えてください。

図書室の事業や仕組みについての認知度を問う質問です。

図書室・教育委員会の事業にかかわるもの

1 おはなし会(小学生52.4%、中学生18.5%)

4月23日、「子ども読書の日」にちなんで、教育委員会が実施している乳幼児を対象とした事業で絵本の読み聞かせや紙芝居などを実施している。児童・生徒の中には子どもの頃参加した子もいると思われたので出題。

2 ブックスタート(小学生21.4%、中学生7.4%)

赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくり心ふれあうひとときをもつきっかけをつくる目的で、絵本をプレゼントしたりする運動。小平町では9ヶ月健診を受診した乳児に絵本とバック、絵本のカタログを渡し、図書室職員の「読み聞かせ」を通じて、絵本を介した親子の結びつきの大切さの啓発をはかっています。

3 ブックフェスティバル(小学生85.7%、中学生74.1%)

年に一度、町内各小学校で行われる事業で、道立図書館からの大量一括貸出により借用した児童書を、体育館の床に敷きつめ自由に手に取ってみたり、貸出にも対応する。読み聞かせボランティアによる読み聞かせもある。小学校で参加している児童生徒も多いと思われ出題。

4 本のリサイクル市(小学生28.6%、中学生11.1%)

町文化祭と同時に文化交流センター図書室で開催している事業。一般から不要になった本を募り無料で提供する。

5 利用者カード(文化交流センター)(小学生59.5%、中学生25.9%)

平成23年度に導入した図書検索システムに伴い、貸出も電算化され「利用者カード」

を発行している。持っている児童生徒もいるのではということで出題した。

#### 6 読み聞かせボランティア（小学生54.8%、中学生14.8%）

幼児・児童への読み聞かせの重要性が指摘されている中で、各地でボランティアによる読み聞かせ団体が作られている。小平町では子育てサポーターが中心となって、さまざまな事業で読み聞かせを実施し活動している。ブックフェスティバルなどで活動に触れている児童生徒も多いので出題。

#### 図書館の仕組みや決まりにかかわる用語

##### 1 禁帯出（小学生2.4%、中学生7.4%）

館内から持ち出してはいけませんという意味。いろいろな図書館でこのシールが貼られている図書があるので出題。

##### 2 相互貸借（小学生2.4%、中学生0%）

図書館同士で資料（本）の貸し借りをすること。ない資料については、全国の図書館から探して、かり出すことが出来る。「調べ学習」には便利な仕組みなので出題。

##### 3 日本十進分類法（小学生2.4%、中学生0%）

日本で広く使われている図書の分類法。この分類法が基礎となって多くの図書館は図書の配架を行っているので、こういうものがあることを知っていれば本が探しやすくなる。ちなみに日本の歴史なら210番台、北海道の歴史なら211番台の番号が付けられている。存在だけでも知っているとな便利なので出題。

##### 4 レファレンス（小学生0%、中学生0%）

日本語で参考調査といい、図書館職員が利用者の学習や調査に必要な情報を探すことを支援し、提供する業務をいう。わからない資料も相談することで、探してもらえるかもしれない。「調べ学習」に便利なサービス。

##### 5 リクエスト（小学生21.4%、中学生63.0%）

図書室にない資料（本）を、購入して蔵書にしてもらうよう要請すること。図書室では、随時受け付けていて、優先的に選書されるが予算や図書室の選書方針によって、遅くなったり購入できないこともある。

##### 6 蔵書検索（小学生21.4%、中学生33.3%）

図書館には蔵書目録があり、本のありかを探すことが出来る。古い時代は「目録カード」を使用していたが、最近はコンピューターで蔵書検索を行うところが増えている。小平町文化交流センター図書室も平成23年に電算化し、コンピューターで検索できるようになっている。

# 子どもの読書活動に関するアンケート(町内中学生)

1. 学年を教えてください	中学2年生	27		
2. 性別を教えてください	男	15		
	女	12		
3. あなたは本を読むのが好きですか	好き	11		
	どちらかという好き	11		
	どちらかという嫌い	2		
	嫌い	3		
4. 3で「好き・どちらかという好き」と答えた人に質問です。あなたが本を好きになったきっかけは何ですか。	ア. 小さい頃、本を読んでもらったから	1		
	イ. 本屋さんや図書館(室)に連れて行ってもらったから	8		
	ウ. 家に本があったから	3		
	エ. 学校で読書をするようになったから	4		
	オ. 家族や先生に勧められたから	0		
	カ. 本が好きで友達がいるから	1		
	キ. 本をプレゼントされたから	0		
	ク. その他	4		
	・その他の内容			
	・まずマンガが好きになって、それから小説など本を読む事が好きになった			
・読んでる本が面白いから				
・ケータイ小説を読むようになってから。				
・伝記などが好きだから				
・マンガを買ってもらってから				
5. 小さい頃に読んだ(読んでもらった)絵本の家、思い出に残っているものがあれば書名を教えてください。(自由筆記・複数回答可)	・はらぺこあおむし ・白雪姫 ・かさじそう ・おむすびころりん ・金太郎 ・いっすんぼうし ・赤ずきんちゃん ・西遊記 ・花さかじいさん ・3びきのこぶた ・みにくいあひるのこ ・桃太郎 ・ふくろうさんの小さないす ・星の王子様 ・エルマーのぼうけん ・大きくなるっていうことは ・ふしぎの国のアリス ・シンデレラ ・ぐりとぐら ・おまめ大キライ ・きかんしゃトーマス ・アンパンマンシリーズ ・おおきなかぶ ・窓からおくりもの ・だんだんのみ ・うろこだま ・へっこきあねさ ・くれよんのくろくん ・しりとりの大好きな王様 ・はちうえはほくにまかせて ・トリケラトプスがぼうけんする本 ・百万回生きたねこ			
	6. あなたは「本の読み聞かせ」をしてもらったことがありますか。	してもらったことがない(記憶がない) 5 家庭 16 学校 13 文化交流センター・健康福祉センター 4		
	7. あなたはどんな内容の本が好きですか。右の項目から好きな内容を3つまで選んでください。	小説や物語	26	
		ノンフィクション	12	
		図鑑	2	
伝記		6		
絵本		3		
社会や歴史		1		
自然		1		
料理・手芸・工作		7		
スポーツ		10		
ゲーム(なぞ)・ゲームなど		2		
その他		10		
・その他の内容				
・自伝 ・ワンピース ・楽譜 ・辞典 ・ライトノベル				



<p>8. あなたは平成23年9月の1ヶ月間に何冊本を読みましたか。(マンガを除く)</p>	<table border="1"> <tr><td>ア. 0冊</td><td>3</td></tr> <tr><td>イ. 1～2冊</td><td>11</td></tr> <tr><td>ウ. 3～4冊</td><td>6</td></tr> <tr><td>エ. 5～6冊</td><td>1</td></tr> <tr><td>オ. 7～8冊</td><td>1</td></tr> <tr><td>カ. 9冊</td><td>4</td></tr> <tr><td>キ. 10～19冊</td><td>1</td></tr> <tr><td>ク. 20冊～29冊</td><td>0</td></tr> <tr><td>コ. 30冊以上</td><td>0</td></tr> </table>	ア. 0冊	3	イ. 1～2冊	11	ウ. 3～4冊	6	エ. 5～6冊	1	オ. 7～8冊	1	カ. 9冊	4	キ. 10～19冊	1	ク. 20冊～29冊	0	コ. 30冊以上	0	<table border="1"> <tr><th>冊数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>イ. 1～2冊</td><td>40%</td></tr> <tr><td>ウ. 3～4冊</td><td>22%</td></tr> <tr><td>カ. 9冊</td><td>15%</td></tr> <tr><td>ア. 0冊</td><td>11%</td></tr> <tr><td>オ. 7～8冊</td><td>4%</td></tr> <tr><td>キ. 10～19冊</td><td>4%</td></tr> <tr><td>エ. 5～6冊</td><td>4%</td></tr> <tr><td>ク. 20冊～29冊</td><td>0%</td></tr> <tr><td>コ. 30冊以上</td><td>0%</td></tr> </table>	冊数	割合	イ. 1～2冊	40%	ウ. 3～4冊	22%	カ. 9冊	15%	ア. 0冊	11%	オ. 7～8冊	4%	キ. 10～19冊	4%	エ. 5～6冊	4%	ク. 20冊～29冊	0%	コ. 30冊以上	0%																						
ア. 0冊	3																																																													
イ. 1～2冊	11																																																													
ウ. 3～4冊	6																																																													
エ. 5～6冊	1																																																													
オ. 7～8冊	1																																																													
カ. 9冊	4																																																													
キ. 10～19冊	1																																																													
ク. 20冊～29冊	0																																																													
コ. 30冊以上	0																																																													
冊数	割合																																																													
イ. 1～2冊	40%																																																													
ウ. 3～4冊	22%																																																													
カ. 9冊	15%																																																													
ア. 0冊	11%																																																													
オ. 7～8冊	4%																																																													
キ. 10～19冊	4%																																																													
エ. 5～6冊	4%																																																													
ク. 20冊～29冊	0%																																																													
コ. 30冊以上	0%																																																													
<p>9. 8で「ア. 0冊」と答えた人に質問です。本を読まなかった理由としてあなたの気持ちに近いものはどれですか。</p>	<table border="1"> <tr><td>本を読みたいが理由があって読めない</td><td>1</td></tr> <tr><td>本を読みたいと思わない</td><td>2</td></tr> </table>	本を読みたいが理由があって読めない	1	本を読みたいと思わない	2	<table border="1"> <tr><th>理由</th><th>割合</th></tr> <tr><td>本を読みたいと思わない</td><td>67%</td></tr> <tr><td>本を読みたいが理由があって読めない</td><td>33%</td></tr> </table>	理由	割合	本を読みたいと思わない	67%	本を読みたいが理由があって読めない	33%																																																		
本を読みたいが理由があって読めない	1																																																													
本を読みたいと思わない	2																																																													
理由	割合																																																													
本を読みたいと思わない	67%																																																													
本を読みたいが理由があって読めない	33%																																																													
<p>10. 9で「本を読みたいが理由があって読めない」と答えた人に質問します。その理由なんですか。(単一回答)</p>	<table border="1"> <tr><td>ア. 習い事(学習塾を除く)</td><td>0</td></tr> <tr><td>イ. 部活動やスポーツ少年団</td><td>0</td></tr> <tr><td>ウ. 勉強や学習塾</td><td>2</td></tr> <tr><td>エ. どんな本を選んだらよいか分からない</td><td>0</td></tr> <tr><td>オ. その他</td><td>0</td></tr> <tr><td>・その他の理由</td><td></td></tr> </table>	ア. 習い事(学習塾を除く)	0	イ. 部活動やスポーツ少年団	0	ウ. 勉強や学習塾	2	エ. どんな本を選んだらよいか分からない	0	オ. その他	0	・その他の理由		<table border="1"> <tr><th>理由</th><th>割合</th></tr> <tr><td>ウ. 勉強や学習塾</td><td>100%</td></tr> </table>	理由	割合	ウ. 勉強や学習塾	100%																																												
ア. 習い事(学習塾を除く)	0																																																													
イ. 部活動やスポーツ少年団	0																																																													
ウ. 勉強や学習塾	2																																																													
エ. どんな本を選んだらよいか分からない	0																																																													
オ. その他	0																																																													
・その他の理由																																																														
理由	割合																																																													
ウ. 勉強や学習塾	100%																																																													
<p>11-1. あなたは月に何回学校の図書室を利用しますか。(度数分布調査)</p>	<table border="1"> <tr><td>0回</td><td>7</td></tr> <tr><td>1～10回</td><td>18</td></tr> <tr><td>11～20回</td><td>0</td></tr> <tr><td>20回以上</td><td>0</td></tr> </table>	0回	7	1～10回	18	11～20回	0	20回以上	0	<p>11-1</p> <table border="1"> <tr><th>回数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>1～10回</td><td>72%</td></tr> <tr><td>0回</td><td>28%</td></tr> </table>	回数	割合	1～10回	72%	0回	28%																																														
0回	7																																																													
1～10回	18																																																													
11～20回	0																																																													
20回以上	0																																																													
回数	割合																																																													
1～10回	72%																																																													
0回	28%																																																													
<p>11-2. あなたは月に何回文化交流センター図書室や鬼鹿公民館図書室を利用しますか。(度数分布調査)</p>	<table border="1"> <tr><td>0回</td><td>17</td></tr> <tr><td>1～10回</td><td>9</td></tr> <tr><td>11～20回</td><td>0</td></tr> <tr><td>20回以上</td><td>0</td></tr> </table>	0回	17	1～10回	9	11～20回	0	20回以上	0	<p>11-2</p> <table border="1"> <tr><th>回数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>0回</td><td>65%</td></tr> <tr><td>1～10回</td><td>35%</td></tr> </table>	回数	割合	0回	65%	1～10回	35%																																														
0回	17																																																													
1～10回	9																																																													
11～20回	0																																																													
20回以上	0																																																													
回数	割合																																																													
0回	65%																																																													
1～10回	35%																																																													
<p>12. 11-2で文化交流センター図書室や鬼鹿公民館図書室に行く回数が「0回」と答えた人に質問です。文化交流センター図書室や鬼鹿公民館図書室へ行かないのはなぜですか。</p>	<table border="1"> <tr><td>ア. 学校から借りた本で間に合う</td><td>4</td></tr> <tr><td>イ. 学校以外の図書館は遠いから</td><td>1</td></tr> <tr><td>ウ. 忙しい</td><td>7</td></tr> <tr><td>エ. 本に興味が無い</td><td>0</td></tr> <tr><td>オ. 利用方法が分からない</td><td>0</td></tr> <tr><td>カ. 他の図書館へ行く</td><td>0</td></tr> <tr><td>キ. 図書室で借りずに本屋さんで買う</td><td>2</td></tr> <tr><td>ク. その他</td><td>2</td></tr> <tr><td>・その他の理由</td><td></td></tr> <tr><td>・行けない ・どちらかと言えばネットを使いに行ってる</td><td></td></tr> </table>	ア. 学校から借りた本で間に合う	4	イ. 学校以外の図書館は遠いから	1	ウ. 忙しい	7	エ. 本に興味が無い	0	オ. 利用方法が分からない	0	カ. 他の図書館へ行く	0	キ. 図書室で借りずに本屋さんで買う	2	ク. その他	2	・その他の理由		・行けない ・どちらかと言えばネットを使いに行ってる		<table border="1"> <tr><th>理由</th><th>割合</th></tr> <tr><td>ウ. 忙しい</td><td>43%</td></tr> <tr><td>ア. 学校から借りた本で間に合う</td><td>25%</td></tr> <tr><td>キ. 図書室で借りずに本屋さんで買う</td><td>13%</td></tr> <tr><td>ク. その他</td><td>13%</td></tr> <tr><td>イ. 学校以外の図書館は遠いから</td><td>6%</td></tr> </table>	理由	割合	ウ. 忙しい	43%	ア. 学校から借りた本で間に合う	25%	キ. 図書室で借りずに本屋さんで買う	13%	ク. その他	13%	イ. 学校以外の図書館は遠いから	6%																												
ア. 学校から借りた本で間に合う	4																																																													
イ. 学校以外の図書館は遠いから	1																																																													
ウ. 忙しい	7																																																													
エ. 本に興味が無い	0																																																													
オ. 利用方法が分からない	0																																																													
カ. 他の図書館へ行く	0																																																													
キ. 図書室で借りずに本屋さんで買う	2																																																													
ク. その他	2																																																													
・その他の理由																																																														
・行けない ・どちらかと言えばネットを使いに行ってる																																																														
理由	割合																																																													
ウ. 忙しい	43%																																																													
ア. 学校から借りた本で間に合う	25%																																																													
キ. 図書室で借りずに本屋さんで買う	13%																																																													
ク. その他	13%																																																													
イ. 学校以外の図書館は遠いから	6%																																																													
<p>13. あなたは本を選ぶとき、どんなものや意見を参考に選びますか。あてはまるものを3つまで選んでください。</p>	<table border="1"> <tr><td>ア. 家族のすすめ</td><td>0</td></tr> <tr><td>イ. 先生のすすめ</td><td>1</td></tr> <tr><td>ウ. 友達のすすめ</td><td>11</td></tr> <tr><td>エ. 図書室職員のすすめ</td><td>2</td></tr> <tr><td>オ. 雑誌や新聞</td><td>10</td></tr> <tr><td>カ. 図書室や書店で実際に本を開いてみて</td><td>14</td></tr> <tr><td>キ. その他</td><td>17</td></tr> <tr><td>・その他の理由</td><td></td></tr> <tr><td>・自分が気になったもの ・絵を見て選ぶ ・直感</td><td></td></tr> <tr><td>・テレビ ・広告 ・作者が好き ・続きが気になったから ・自分で考えて ・テレビを見て</td><td></td></tr> </table>	ア. 家族のすすめ	0	イ. 先生のすすめ	1	ウ. 友達のすすめ	11	エ. 図書室職員のすすめ	2	オ. 雑誌や新聞	10	カ. 図書室や書店で実際に本を開いてみて	14	キ. その他	17	・その他の理由		・自分が気になったもの ・絵を見て選ぶ ・直感		・テレビ ・広告 ・作者が好き ・続きが気になったから ・自分で考えて ・テレビを見て		<table border="1"> <tr><th>理由</th><th>割合</th></tr> <tr><td>カ. 図書室や書店で実際に本を開いてみて</td><td>25%</td></tr> <tr><td>キ. その他</td><td>31%</td></tr> <tr><td>ウ. 友達のすすめ</td><td>20%</td></tr> <tr><td>オ. 雑誌や新聞</td><td>18%</td></tr> <tr><td>イ. 先生のすすめ</td><td>2%</td></tr> <tr><td>エ. 図書室職員のすすめ</td><td>4%</td></tr> </table>	理由	割合	カ. 図書室や書店で実際に本を開いてみて	25%	キ. その他	31%	ウ. 友達のすすめ	20%	オ. 雑誌や新聞	18%	イ. 先生のすすめ	2%	エ. 図書室職員のすすめ	4%																										
ア. 家族のすすめ	0																																																													
イ. 先生のすすめ	1																																																													
ウ. 友達のすすめ	11																																																													
エ. 図書室職員のすすめ	2																																																													
オ. 雑誌や新聞	10																																																													
カ. 図書室や書店で実際に本を開いてみて	14																																																													
キ. その他	17																																																													
・その他の理由																																																														
・自分が気になったもの ・絵を見て選ぶ ・直感																																																														
・テレビ ・広告 ・作者が好き ・続きが気になったから ・自分で考えて ・テレビを見て																																																														
理由	割合																																																													
カ. 図書室や書店で実際に本を開いてみて	25%																																																													
キ. その他	31%																																																													
ウ. 友達のすすめ	20%																																																													
オ. 雑誌や新聞	18%																																																													
イ. 先生のすすめ	2%																																																													
エ. 図書室職員のすすめ	4%																																																													
<p>14. あなたはふだんの生活で、どのように時間を過ごすことが多いですか。あてはまるものすべてにをつけてください。</p>	<table border="1"> <tr><th>選択項目</th><th>回答数/全回答者</th><th>回答数</th></tr> <tr><td>テレビ・ビデオ・DVDを見る</td><td>51.9%</td><td>14</td></tr> <tr><td>ゲームで遊ぶ</td><td>77.8%</td><td>21</td></tr> <tr><td>家族と過ごす</td><td>44.4%</td><td>12</td></tr> <tr><td>習い事に行く</td><td>7.4%</td><td>2</td></tr> <tr><td>読書をする</td><td>33.3%</td><td>9</td></tr> <tr><td>友達と遊ぶ</td><td>40.7%</td><td>11</td></tr> <tr><td>スポーツをする</td><td>29.6%</td><td>8</td></tr> <tr><td>部活動・スポーツ少年団活動をする</td><td>63.0%</td><td>17</td></tr> <tr><td>寝る</td><td>70.4%</td><td>19</td></tr> <tr><td>インターネット(パソコン)をする</td><td>40.7%</td><td>11</td></tr> <tr><td>携帯電話を使う</td><td>7.4%</td><td>2</td></tr> </table>	選択項目	回答数/全回答者	回答数	テレビ・ビデオ・DVDを見る	51.9%	14	ゲームで遊ぶ	77.8%	21	家族と過ごす	44.4%	12	習い事に行く	7.4%	2	読書をする	33.3%	9	友達と遊ぶ	40.7%	11	スポーツをする	29.6%	8	部活動・スポーツ少年団活動をする	63.0%	17	寝る	70.4%	19	インターネット(パソコン)をする	40.7%	11	携帯電話を使う	7.4%	2	<table border="1"> <tr><th>活動</th><th>割合</th></tr> <tr><td>ゲームで遊ぶ</td><td>77.8%</td></tr> <tr><td>寝る</td><td>70.4%</td></tr> <tr><td>部活動・スポーツ少年団活動をする</td><td>63.0%</td></tr> <tr><td>友達と遊ぶ</td><td>40.7%</td></tr> <tr><td>読書をする</td><td>33.3%</td></tr> <tr><td>インターネット(パソコン)をする</td><td>40.7%</td></tr> <tr><td>家族と過ごす</td><td>44.4%</td></tr> <tr><td>習い事に行く</td><td>7.4%</td></tr> <tr><td>スポーツをする</td><td>29.6%</td></tr> <tr><td>テレビ・ビデオ・DVDを見る</td><td>51.9%</td></tr> <tr><td>携帯電話を使う</td><td>7.4%</td></tr> </table>	活動	割合	ゲームで遊ぶ	77.8%	寝る	70.4%	部活動・スポーツ少年団活動をする	63.0%	友達と遊ぶ	40.7%	読書をする	33.3%	インターネット(パソコン)をする	40.7%	家族と過ごす	44.4%	習い事に行く	7.4%	スポーツをする	29.6%	テレビ・ビデオ・DVDを見る	51.9%	携帯電話を使う	7.4%
選択項目	回答数/全回答者	回答数																																																												
テレビ・ビデオ・DVDを見る	51.9%	14																																																												
ゲームで遊ぶ	77.8%	21																																																												
家族と過ごす	44.4%	12																																																												
習い事に行く	7.4%	2																																																												
読書をする	33.3%	9																																																												
友達と遊ぶ	40.7%	11																																																												
スポーツをする	29.6%	8																																																												
部活動・スポーツ少年団活動をする	63.0%	17																																																												
寝る	70.4%	19																																																												
インターネット(パソコン)をする	40.7%	11																																																												
携帯電話を使う	7.4%	2																																																												
活動	割合																																																													
ゲームで遊ぶ	77.8%																																																													
寝る	70.4%																																																													
部活動・スポーツ少年団活動をする	63.0%																																																													
友達と遊ぶ	40.7%																																																													
読書をする	33.3%																																																													
インターネット(パソコン)をする	40.7%																																																													
家族と過ごす	44.4%																																																													
習い事に行く	7.4%																																																													
スポーツをする	29.6%																																																													
テレビ・ビデオ・DVDを見る	51.9%																																																													
携帯電話を使う	7.4%																																																													

15. 図書室について、知っている言葉、使ったことのある言葉、聞いたことのある言葉について教えてください。	・選択項目	回答数	用語の認識率	
	禁帯出	2	7.4%	
	おはなし会	5	18.5%	
	相互貸借	0	0.0%	
	日本十進分類法	0	0.0%	
	ブックスタート	2	7.4%	
	ブックフェスティバル	20	74.1%	
	本のリサイクル市	3	11.1%	
	読み聞かせボランティア	4	14.8%	
	利用者カード(文化交流センター図書室)	7	25.9%	
	レファレンス	1	3.7%	
	リクエスト	17	63.0%	
	蔵書検索	9	33.3%	

# 子どもの読書活動に関するアンケート(町内小学3・6年生)

1. 学年を教えてください	小学3年生	19		
	小学6年生	23		
2. 性別を教えてください	男	23		
	女	19		
3. あなたは本を読むのが好きですか	好き	11		
	どちらかという好き	19		
	どちらかという嫌い	11		
	嫌い	1		
4. 3で「好き・どちらかという好き」と答えた人に質問です。あなたが本を好きになったきっかけは何ですか。	ア. 小さい頃、本を読んでもらったから	10		
	イ. 本屋さんや図書館(室)に連れて行ってもらったから	3		
	ウ. 家に本があったから	6		
	エ. 学校で読書をするようになったから	10		
	オ. 家族や先生に勧められたから	1		
	カ. 本が好きな友達がいるから	0		
	キ. 本をプレゼントされたから	2		
	ク. その他	1		
	・その他の内容			
	図書館にたくさん通っていたから			
5. 小さい頃に読んだ(読んでもらった)絵本の家、思い出に残っているものがあれば書名を教えてください。(自由筆記・複数回答可)	・ゆかいなかえる ・バムとケロのにちようび ・三壘打だよかぎばあさん ・図鑑全般(特に魚や動物) ・フランダーズの犬 ・ながぐつをはいたネコ ・おおきなかぶ ・むしたちのえんそく ・しんかんせんの本 ・ももんちゃんシリーズ ・ぐりとぐらシリーズ ・ちいさなうさこちゃん ・うずらちゃんのかくれんぼ ・ふしぎなナイフ ・はらべこあおむし ・ねずみくんのクリスマス ・こわい話 ・むかし話 ・ポケモンの本 ・みにくいあひるの子 ・みつばちハッチ ・木こりのおじいさんがでてくる話 ・おもちゃのへいたい ・ももたろう ・おおかみと七ひきの子やぎ ・かいけつゾロリ ・くれよんのくろくん ・そらまめくんとながいまめ ・からすのパンやさん ・うさぎとかめ ・コッコさんのおみせ ・教室はまちがうところだ! ・3びきのやぎとがらがらどん ・3びきのこぶた ・こんとあき ・ちいさいももんちゃんシリーズ ・あらしの夜に ・しかけ絵本パセリ ・さるかに合戦 ・眠れる森の美女 ・アンパンマン火の玉こぞうをやっつける! ・ちびくまのプレゼント ・アンパンマン ・バムケロシリーズ ・はらべこあおむし ・もも太郎 ・7ひきの子やぎとおおかみ ・イソップ物語 ・こそどろこそべえ			
	してもらったことがない(記憶がない)	3		
	家庭	27		
	学校	33		
	文化交流センター・健康福祉センター	17		
	7. あなたはどんな内容の本が好きですか。右の項目から好きな内容を3つまで選んでください。	小説や物語	18	
		ノンフィクション	8	
		図鑑	12	
		伝記	4	
		絵本	12	
		社会や歴史	7	
		自然	5	
料理・手芸・工作		14		
スポーツ		8		
ゲーム(なぞなぞ・ゲームなど)		17		
その他		6		
その他の内容				
・赤川次郎シリーズ ・マンガ ・メジャー(マンガ) ・コナンシリーズ				

8. あなたは平成23年9月の1ヶ月間に何冊本を読みましたか。(マンガを除く)	ア. 0冊	3	<p>コ. 30冊以上 5%</p> <p>ア. 0冊 7%</p> <p>イ. 1~2冊 22%</p> <p>ウ. 3~4冊 7%</p> <p>エ. 5~6冊 14%</p> <p>オ. 7~8冊 5%</p> <p>カ. 9冊 17%</p> <p>キ. 10~19冊 14%</p> <p>ク. 20冊~29冊 9%</p>
	イ. 1~2冊	10	
	ウ. 3~4冊	3	
	エ. 5~6冊	6	
	オ. 7~8冊	2	
	カ. 9冊	8	
	キ. 10~19冊	6	
	ク. 20冊~29冊	4	
	コ. 30冊以上	2	
9. 8で「ア. 0冊」と答えた人に質問です。本を読まなかった理由としてあなたの気持ちに近いものはどれですか。	本を読みたいが理由があって読めない	1	<p>本を読みたいが理由があって読めない 33%</p> <p>本を読みたいと思わない 67%</p>
	本を読みたいと思わない	2	
10. 9で「本を読みたいが理由があって読めない」と答えた人に質問します。その理由はなんですか。(単一回答)	ア. 習い事(学習塾を除く)	0	<p>イ. 部活動やスポーツ少年団 100%</p>
	イ. 部活動やスポーツ少年団	1	
	ウ. 勉強や学習塾	0	
	エ. どんな本を選んだらよいか分からない	0	
	オ. その他	0	
11-1. あなたは月に何回学校の図書室を利用しますか。(度数分布調査)	0回	4	<p>11-1</p> <p>20回以上 11%</p> <p>0回 11%</p> <p>1~10回 52%</p> <p>11~20回 26%</p>
	1~10回	20	
	11~20回	10	
	20回以上	4	
11-2. あなたは月に何回文化交流センター図書室や鬼鹿公民館図書室を利用しますか。(度数分布調査)	0回	14	<p>11-2</p> <p>11~20回 3%</p> <p>20回以上 0%</p> <p>0回 35%</p> <p>1~10回 62%</p>
	1~10回	25	
	11~20回	1	
	20回以上	0	
12. 11-2で文化交流センター図書室や鬼鹿公民館図書室に行く回数が「0回」と答えた人に質問です。文化交流センター図書室や鬼鹿公民館図書室へ行かないのはなぜですか。	ア. 学校から借りた本で間に合う	3	<p>ア. 学校から借りた本で間に合う 17%</p> <p>イ. 学校以外の図書館は遠いから 23%</p> <p>ウ. 忙しい 18%</p> <p>エ. 本に興味がない 12%</p> <p>オ. 利用方法が分からない 6%</p> <p>カ. 他の図書館へ行く 0%</p> <p>キ. 図書室で借りずに本屋さんで買う 12%</p> <p>ク. その他 12%</p>
	イ. 学校以外の図書館は遠いから	4	
	ウ. 忙しい	3	
	エ. 本に興味がない	2	
	オ. 利用方法が分からない	1	
	カ. 他の図書館へ行く	0	
	キ. 図書室で借りずに本屋さんで買う	2	
	ク. その他	2	
	・その他の理由		
習い事があるので冬休み、夏休み意外図書室に行かない			
13. あなたは本を選ぶとき、どんなものや意見を参考に選びますか。あてはまるものを3つまで選んでください。	ア. 家族のすすめ	13	<p>ア. 家族のすすめ 16%</p> <p>イ. 先生のすすめ 9%</p> <p>ウ. 友達のすすめ 16%</p> <p>エ. 図書室職員のすすめ 13%</p> <p>オ. 雑誌や新聞 14%</p> <p>カ. 図書室や書店で実際に本を開いてみて 26%</p> <p>キ. その他 6%</p>
	イ. 先生のすすめ	7	
	ウ. 友達のすすめ	13	
	エ. 図書室職員のすすめ	10	
	オ. 雑誌や新聞	11	
	カ. 図書室や書店で実際に本を開いてみて	20	
	キ. その他	5	
	・その他の理由		
	・題名をみて「おもしろそう」と思った		
	・本の題名を見て選ぶ ・表紙を見て選ぶ		
・自分で読みたかったから ・自分で選ぶ ・本屋に行かない ・本屋さんで買ってお母さんに勧められた			

14. あなたはふだんの生活で、どのように時間を過ごすことが多いですか。あてはまるものすべてにをつけてください。	・選択項目	回答数/全回答者	回答数	
	テレビ・ビデオ・DVDを見る	57.1%	24	
	ゲームで遊ぶ	59.5%	25	
	家族と過ごす	69.0%	29	
	習い事に行く	35.7%	15	
	読書をする	19.0%	8	
	友達と遊ぶ	54.8%	23	
	スポーツをする	33.3%	14	
	部活動・スポーツ少年団活動をする	40.5%	17	
	寝る	50.0%	21	
	インターネット(パソコン)をする	26.2%	11	
	携帯電話を使う	9.5%	4	
	15. 図書室について、知っている言葉、使ったことのある言葉、聞いたことのある言葉について教えてください。	・選択項目	回答数	
禁帯出		1	2.4%	
おはなし会		22	52.4%	
相互貸借		1	2.4%	
日本十進分類法		1	2.4%	
ブックスタート		9	21.4%	
ブックフェスティバル		36	85.7%	
本のリサイクル市		12	28.6%	
読み聞かせボランティア		23	54.8%	
利用者カード(文化交流センター図書室)		25	59.5%	
レファレンス	0	0.0%		
リクエスト	26	61.9%		
蔵書検索	9	21.4%		

## 子どもの読書活動に関するアンケート（町内小学3・6年生，中学2年生の保護者）

今回のアンケートでは、各学年の保護者とも同じ調査票を用いてアンケートを行った。

### 1．お子さんの学年を教えてください

今回対象とする母集団は、町内の小学3年生20名、小学6年生24名、中学2年生27名の保護者である。回答数は小学3年生で19名（回答率95%）、小学6年生25名（回答率96%）、中学2年生で27名（回答率100%）となっている。

### 2．性別を教えてください

それぞれの保護者の子どもは小学3・6年生（以下小学生と略す）で男子25名（57%）、女子19名（43%）、中学2年生（以下中学生と略す）で男子14名（52%）、女子13名（48%）となっており、小学生・中学生とも子どもの男女構成比には大差がない。

### 3．子どもが読書をすることは大切だと思いますか

小学生・中学生とも96%以上の保護者が「思う」としており、読書の重要性の理解は進んでいる。

### 4．家庭のなかで児童・生徒が読んでいる本、読ませる本について会話をしますか

小学生では「よくある・ときどきある」を含めた子どもの読書について話題にする家庭は、58%、中学生で同様の家庭は70%と学年が上がるにつれて子どもの読書について話題にする家庭の割合が増える傾向にあるようである。

### 5．家庭で読み聞かせをしていますか

読み聞かせは、読書への導入として集中して聴く訓練となるとの理由で、乳幼児から概ね小学生までの児童（高学年も含む）に有効性が指摘されている。家庭での読み聞かせの普及度を見る設問である。小学生においては、「よくある・時々する」という読み聞かせをしている家庭は12%に過ぎず、「今はしていない（かつてはしていた）・あまりしていない」という読み聞かせをしていない家庭が72%を占め、小学生の保護者も幼児期にはしていた「読み聞かせ」をあまりしなくなる様子が見てとれる。中学校に至っては89%の家庭が読み聞かせをしていない。少数ながら「していない」との回答も、小学生で16%、中学生で27%あった。

#### 6 - 1 . 5で「よくある・時々する」と答えた人へ。読み聞かせの頻度を教えてください

5の設問で「よくある・時々する」という読み聞かせをしている家庭は、小学生のみに見られ、毎日～月に1回までさまざまな頻度で分散しており、一定の傾向は見られなかった。

**6 - 2 . 5で「よくある・時々する」と答えた人へ。いつまで読み聞かせを続けたいと表  
いますか**

5の設問で「よくある・時々する」という読み聞かせをしている家庭では、小学生のみに見られた。本設問の目的は保護者が考える読み聞かせから一定の距離を置くようになる時期を探ることである。「小学校入学まで」との回答が42%、「小学校低学年まで」が38%であり、読み聞かせをしている家庭でも「小学校低学年まで」がひとつの区切りと受け止められているようである。

**6 - 3 . 5で「よくある・時々する」と答えた人へ。主に読み聞かせをするのは誰ですか**  
小学校の読み聞かせをしている家庭において、「母親」とするのが86%、それに続くのが  
祖父母・父親だがいずれも7%の少数にとどまった。「読み聞かせ」という子育ての分野に  
男性や兄弟や近所の人といったさまざまな主体が参画する仕掛けを作っていく必要がある  
ように思われる。

**7 . 5で「今はしていない(かつてしていた)」と答えた人へ。いつまで読み聞かせをしま  
したか**

読み聞かせをしていない家庭のうち、比較的読み聞かせに積極的であったと見られる集団  
では、小学生では「小学校入学まで」が61%、「小学校低学年まで」が29%との結果に  
なった。同様に中学生では「小学校入学まで」が52%、「小学校低学年まで」が32%と  
の結果となり、概ね小学生・中学生とも「小学校入学」～「小学校低学年」が読み聞かせ  
をやめる時期と受け止められていることが明らかになった。

**8 . 5で「よくある・時々する・今はしていない(かつてしていた)」と答えた人へ。お子  
さんに初めて本を読んであげたのはいつですか？**

この設問は、読み聞かせをしている家庭と比較的読み聞かせに積極的であったが現在は読  
み聞かせをしていない家庭で、何歳頃から読み聞かせを開始したかを問うもので、小平町  
では10か月検診時にブックスタートを実施していることからブックスタートの成果もあ  
わせてみようとするものである。小学生では「0歳」～「1歳」で77%を占め、中学生  
でも「0歳」～「1歳」で84%を占める。比較的早期の読み聞かせ開始が定着しており、  
ブックスタートの成果も出ているとみなすことが出来よう。きっかけについてはブックス  
タートに触れる回答や早い人では「生まれる前に絵本を用意した」とか、「寝かしつけるた  
め」「言葉を覚え始めたのがうれしくて」など。詳しくは後述のアンケート集計を参照され  
たい。



## **9 . どうすれば子どもがもっと本を読むようになると思いますか**

小学生では「図書室（館）や書店につれていく」の24%、「家庭で本を話題にする」の19%を除くと、割合に大きな差はなく「大人が本を読む（読んでいる姿を見せる）」15%、「読み聞かせの機会を増やす」14%、「学校で本を読む時間を増やす」13%、「テレビやゲームの時間を減らす」11%の順だった。

中学生では、「図書室（館）や書店につれていく」29%、「大人が本を読む（読んでいる姿を見せる）」18%、「テレビやゲームの時間を減らす」15%が上位を占めた。

## **10 . 文化交流センターや鬼鹿公民館図書室の利用について、意見や提案があればお書き下さい。**

図書室の運営について課題を探るための設問。後述のアンケート集計を参照されたい。

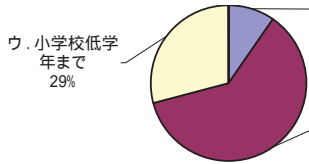
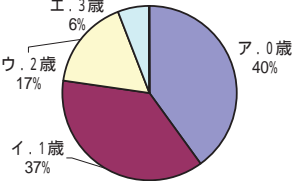
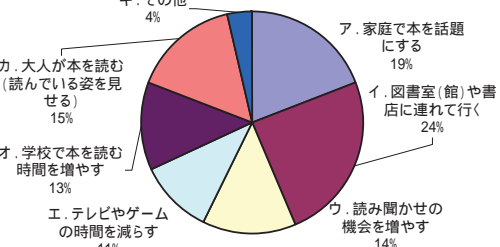
# 子どもの読書活動に関するアンケート(町内中学生保護者)

1. お子さんの性別を教えてください	男	14	
	女	13	
2. 子どもが読書をすることは大切だと思いますか?	思う	26	
	あまり思わない	1	
	思わない	0	
3. 家庭の中で子どもが読んでいる本、子どもに読ませる本について会話をすることがありますか?	ア. よくある	1	
	イ. 時々ある	18	
	ウ. あまりない	7	
	エ. ない	1	
4. ご家庭で読み聞かせをしていますか。	ア. よくする	0	
	イ. 時々する	0	
	ウ. 今はしていない(かつてはしていた)	17	
	エ. あまりしていない	3	
5-1. 4で「よくする・時々する」と答えた方へ質問します。読み聞かせの頻度は、どのくらいですか?	ア. 毎日	0	
	イ. 週に3~4回	0	
	ウ. 週に1~2回	0	
	エ. 月に2~3回	2	
	オ. 月に1回	0	
5-2. 4で「よくする・時々する」と答えた方へ質問します。お子さんにいつまで読み聞かせを続けてあげたいと思っていますか?	ア. 幼稚園入学まで	3	
	イ. 小学校入学まで	5	
	ウ. 小学校低学年まで	4	
	エ. 小学校高学年まで	1	
	オ. 中学校まで	0	
5-3. 4で「よくする・時々する」と答えた方へ質問します。主に読み聞かせをするのは誰ですか?	ア. 祖父母	3	
	イ. 父親	0	
	ウ. 母親	11	
	エ. 兄弟	0	
	オ. 近所の人	0	
	カ. その他	0	
	その他を記入		
6. 4で「今はしていない(かつてはしていた)」と答えた方に質問します。お子さんにいつまで読み聞かせをしていましたか?	ア. 幼稚園入学まで	2	
	イ. 小学校入学まで	10	
	ウ. 小学校低学年まで	6	
	エ. 小学校高学年まで	1	
	オ. 中学校まで	0	
7. 4で「よくする。ときどきする・今はしていない(かつてはしていた)」と答えた方に質問します。お子さんに初めて本を読んでもらったのは何歳ぐらいの頃でしたか。そのきっかけについても教えてください。	ア. 0歳	7	
	イ. 1歳	9	
	ウ. 2歳	3	
	エ. 3歳	0	
	オ. 4歳以上	0	
	きっかけを記入(自由筆記)		
・スキップの1つ。寝る前に気持ちを落ち着かせるため。(静かに絵本を見ながら話を聞くことによりスムーズな眠りを誘う) ・言葉を覚えはじめたから ・言葉が出てきた頃から。段々指さしが始まって親も楽しい時間を過ごした。			

8. どのようにすれば子どもがもっと本を読むようになると思いますか。選択肢から3つ選んでください。	ア. 家庭で本を話題にする	10	<p>           ア. 家庭で本を話題にする 18%            イ. 図書室(館)や書店に連れて行く 29%            カ. 大人が本を読む(読んでいる姿を見せる) 18%            オ. 学校で本を読む時間を増やす 9%            エ. テレビやゲームの時間を減らす 15%            ウ. 読み聞かせの機会を増やす 7%            キ. その他 4%         </p>
	イ. 図書室(館)や書店に連れて行く	16	
	ウ. 読み聞かせの機会を増やす	4	
	エ. テレビやゲームの時間を減らす	8	
	オ. 学校で本を読む時間を増やす	5	
	カ. 大人が本を読む(読んでいる姿を見せる)	10	
	キ. その他	2	
	その他を記入(自由筆記)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味のある事に対する本を見つけたりしたら勧めてみる(子供に話してみる)ゲームが遊びの主流なので、難しいのかも。本人の興味次第</li> <li>・部活、学校での生活がいそがしく無理である。</li> </ul>			
9. 文化交流センターや鬼鹿公民館図書室の利用について、ご意見・ご提案があれば記入下さい。(自由筆記)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に本の数が少ないので、何度か行くとあきてしまうと思います。(鬼鹿公民館)</li> </ul>		

# 子どもの読書活動に関するアンケート(町内小学生保護者)

1. お子さんの学年を教えてください	小学3年生	19	<p>小学3年生 43%</p> <p>小学6年生 57%</p>
	小学6年生	25	
2. お子さんの性別を教えてください	男	25	<p>男 57%</p> <p>女 43%</p>
	女	19	
3. 子どもが読書をすることは大切だと思いますか?	思う	42	<p>思う 98%</p> <p>あまり思わない 2%</p> <p>思わない 0%</p>
	あまり思わない	1	
	思わない	0	
4. 家庭の中で子どもが読んでいる本、子どもに読ませる本について会話をすることがありますか?	ア. よくある	6	<p>ア. よくある 14%</p> <p>イ. 時々ある 44%</p> <p>ウ. あまりない 40%</p> <p>エ. ない 2%</p>
	イ. 時々ある	19	
	ウ. あまりない	17	
	エ. ない	1	
5. ご家庭で読み聞かせをしていますか。	ア. よくする	2	<p>ウ. 今はしていない(かつてはしていた) 65%</p> <p>オ. していない 16%</p> <p>エ. あまりしていない 7%</p> <p>イ. 時々する 7%</p> <p>ア. よくする 5%</p>
	イ. 時々する	3	
	ウ. 今はしていない(かつてはしていた)	29	
	エ. あまりしていない	3	
	オ. していない	7	
6-1. 5で「よくする・時々する」と答えた方へ質問します。読み聞かせの頻度は、どのくらいですか?	ア. 毎日	1	<p>ウ. 週に1~2回 17%</p> <p>エ. 月に2~3回 32%</p> <p>オ. 月に1回 17%</p> <p>ア. 毎日 17%</p> <p>イ. 週に3~4回 17%</p>
	イ. 週に3~4回	1	
	ウ. 週に1~2回	1	
	エ. 月に2~3回	2	
	オ. 月に1回	1	
6-2. 5で「よくする・時々する」と答えた方へ質問します。お子さんにいつまで読み聞かせを続けてあげたいと思っていますか?	ア. 幼稚園入学まで	2	<p>ウ. 小学校低学年まで 38%</p> <p>イ. 小学校入学まで 42%</p> <p>エ. 小学校高学年まで 2%</p> <p>オ. 中学校まで 4%</p> <p>ア. 幼稚園入学まで 8%</p>
	イ. 小学校入学まで	10	
	ウ. 小学校低学年まで	9	
	エ. 小学校高学年まで	2	
	オ. 中学校まで	1	
6-3. 5で「よくする・時々する」と答えた方へ質問します。主に読み聞かせをするのは誰ですか?	ア. 祖父母	2	<p>ウ. 母親 86%</p> <p>イ. 父親 7%</p> <p>ア. 祖父母 7%</p>
	イ. 父親	2	
	ウ. 母親	24	
	エ. 兄弟	0	
	オ. 近所の人	0	
	カ. その他	0	
	その他を記入		

<p>7. 5で「今はしていない(かつてはしていた)」と答えた人に質問します。お子さんについて読み聞かせをしていましたか？</p>	<table border="1"> <tr><td>ア. 幼稚園入学まで</td><td>3</td></tr> <tr><td>イ. 小学校入学まで</td><td>19</td></tr> <tr><td>ウ. 小学校低学年まで</td><td>9</td></tr> <tr><td>エ. 小学校高学年まで</td><td>0</td></tr> <tr><td>オ. 中学校まで</td><td>0</td></tr> </table>	ア. 幼稚園入学まで	3	イ. 小学校入学まで	19	ウ. 小学校低学年まで	9	エ. 小学校高学年まで	0	オ. 中学校まで	0					
ア. 幼稚園入学まで	3															
イ. 小学校入学まで	19															
ウ. 小学校低学年まで	9															
エ. 小学校高学年まで	0															
オ. 中学校まで	0															
<p>8. 5で「よくする。ときどきする・今はしていない(かつてはしていた)」と答えた方に質問します。お子さんに初めて本を読んだのは何歳ぐらいの頃でしたか。そのきっかけについても教えてください。</p>	<table border="1"> <tr><td>ア. 0歳</td><td>14</td></tr> <tr><td>イ. 1歳</td><td>13</td></tr> <tr><td>ウ. 2歳</td><td>6</td></tr> <tr><td>エ. 3歳</td><td>2</td></tr> <tr><td>オ. 4歳以上</td><td>0</td></tr> </table> <p>きっかけを記入(自由筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小平町の乳幼児健診で絵本をもらった ・本に興味を持ってもらいたいと思った ・ページをめくる楽しさを知ってほしい</li> <li>・色々な物に興味を持ち始めたので ・寝るときに寝付かせる際に行っていた ・スキップのため</li> <li>・上の子供と共に絵本もおもちゃの一つとして考えていた。そのために読んだ ・本を読み始めると静かに聞いていたから</li> <li>・プレゼントにももらった本でもたいたないので何度も読んだ ・夜、寝かしつけるのに読み始めたら静かに聞いていてそのうちに寝た。</li> <li>・知り合いにももらった ・生まれる前に用意していたので ・赤ちゃんでも読本を喜ぶので</li> <li>・祖母から本をプレゼントしてもらったのがきっかけ ・好きな本を読んで欲しいと持ってくるから</li> <li>・妊娠時より胎教にも良いと聞き、始めた。意外と小さい頃からしっかり見て聞いてくれたので自分で読めるようになる小学生くらいまでは1日1冊は必ず読んでいました。</li> <li>・テレビの読み聞かせ番組を見てヒザにのせて読み聞かせをしました。毎日同じお気に入りの本を読んでいると本が好きになっていきました。また親子の会話も沢山出来たり絵の可愛い本を探しによく図書館に行きました。</li> <li>・上の子(3歳上)に読み聞かせをしていたので隣で聞いていたと思います。寝る前に布団の中で読んであげました。</li> </ul>	ア. 0歳	14	イ. 1歳	13	ウ. 2歳	6	エ. 3歳	2	オ. 4歳以上	0					
ア. 0歳	14															
イ. 1歳	13															
ウ. 2歳	6															
エ. 3歳	2															
オ. 4歳以上	0															
<p>9. どのようにすれば子どもがもっと本を読むようになると思いますか。選択肢から3選んでください。</p>	<table border="1"> <tr><td>ア. 家庭で本を話題にする</td><td>21</td></tr> <tr><td>イ. 図書室(館)や書店に連れて行く</td><td>27</td></tr> <tr><td>ウ. 読み聞かせの機会を増やす</td><td>15</td></tr> <tr><td>エ. テレビやゲームの時間を減らす</td><td>12</td></tr> <tr><td>オ. 学校で本を読む時間を増やす</td><td>14</td></tr> <tr><td>カ. 大人が本を読む(読んでいる姿を見せる)</td><td>17</td></tr> <tr><td>キ. その他</td><td>4</td></tr> </table> <p>その他を記入(自由筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活のようすを見て、興味を持つような本(例-趣味系・図鑑・クイズ系等)を身近に置く。</li> <li>・親が(学校)読むようにするのではなく、自分で読もうとするように環境を作る。親に疑問な事を聞いてきた時に、さりげなくの本に書いてあった気がするとつづやいてみたり・・・。</li> <li>・子どもが興味を持った本(アニメ・マンガ)でも読むように心がける。図鑑でも何でもです。</li> <li>・興味を持ちそうな(持っている)本を進める</li> <li>・子供が読んで楽しい!もっと読みたいと思うような本を与えなくては意味がないと思う。そういう感じでアヤオをすると子供も自分の本の好みがかかります。</li> <li>・こちらから押しつけても仕方のない気もするので“興味をもつまで”はしつこくはすすめないようにしている。興味を持ち始めたら熱心に協力する。</li> </ul>	ア. 家庭で本を話題にする	21	イ. 図書室(館)や書店に連れて行く	27	ウ. 読み聞かせの機会を増やす	15	エ. テレビやゲームの時間を減らす	12	オ. 学校で本を読む時間を増やす	14	カ. 大人が本を読む(読んでいる姿を見せる)	17	キ. その他	4	
ア. 家庭で本を話題にする	21															
イ. 図書室(館)や書店に連れて行く	27															
ウ. 読み聞かせの機会を増やす	15															
エ. テレビやゲームの時間を減らす	12															
オ. 学校で本を読む時間を増やす	14															
カ. 大人が本を読む(読んでいる姿を見せる)	17															
キ. その他	4															
<p>10. 文化交流センターや鬼鹿公民館図書室の利用について、ご意見・ご提案があれば記入下さい。(自由筆記)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場はびっくりするくらいクーラーが入っている。涼しくて良いが少し強い気がする。</li> <li>・韓国芸能人の本が多すぎる。その分子育てや子どもの本を増やしてほしい。</li> <li>・図書室の利用時間を小学生・中学生・大人が行きやすい時間にもできるといいのでは？</li> <li>・借りる時はしばらく続けて借りるのですが、借りなくなると数カ月通わなくなる事があります。家族でその原因について話し合ってみました。通うに遠くて面倒になる、読みたい本が無い、雰囲気になじめない</li> <li>・アニメやマンガの本もあるとうれしいです。</li> <li>・室内の掲示や本の紹介、いろいろな催しなど工夫されていて、本を読みたくなる環境が成されている。もう少し本が増えるとよりよいと感じる。</li> <li>・「年生向け」というような推奨コーナーがあれば子供が本を選びやすいと思います。</li> <li>・交流センターは冬場は特に利用しづらいが、本の種類が豊富なので行きたくなる。</li> <li>・公民館は利用しやすいが種類が少なく数回行くことと選択できなくなる。何を借りようかなとワクワク感があまり感じられない。</li> <li>・赤ちゃんの時から交流センター公民館の図書室によく行き本にふれてきた。学校にも図書室はありますが、時には授業などで交流センターの図書室に行き本を楽しく読んで見るのもいいのでは？学校から離れる事で子供たちも楽しく本にふれる事、又は学校にはない本を見つけて自分にあった本探しが出るといいと思います。</li> </ul>															

## 子どもの読書活動に関するアンケート（幼稚園年少児の保護者）

### 1. お子さんの年齢を教えてください

今回対象とする母集団は、町内の幼稚園3歳児17名、幼稚園4歳児22名である。回答数は3歳児で6名（回答率35%）、4歳児12名（回答率55%）、年少児全体で18名（回答率46%）となっている。

### 2. 性別を教えてください

それぞれの保護者の子どもは年少児（以下年少児と略す）で男子11名（61%）、女子7名（39%）。

### 3. 子どもが読書することは大切だと思いますか

100%の保護者が「思う」としており、読書活動の重要性への理解は進んでいる。

### 4. 家庭のなかで子どもが読んでいる本、読ませる本について会話をしますか

「よくある・ときどきある」を含めた子どもの読書について話題にする家庭は、83%で子どもの読書について話題にする家庭の割合は高い。

### 5. 家庭で読み聞かせをしていますか

読み聞かせは、読書への導入として集中して聴く訓練となるとの理由で、乳幼児から概ね小学生までの児童（高学年も含む）に有効性が指摘されている。家庭での読み聞かせの普及度を見る設問である。「よくある・時々する」という回答が89%を占め、読み聞かせが浸透していることがわかる。

### 6-1. 5で「よくある・時々する」と答えた人へ。読み聞かせの頻度を教えてください

5の設問で「よくある・時々する」という読み聞かせをしている家庭が、年少児家庭では多数を占め、「週1~2回」という回答が47%と最も多く、次ぎに「毎日」の29%が続き、読み聞かせをしている家庭が多いだけでなく頻度も多いことがわかった。

### 6-2. 5で「よくある・時々する」と答えた人へ。いつまで読み聞かせを続けたいと表しますか

本設問の目的は保護者が読み聞かせをいつまで続けたいと考えているかを探ることである。「小学校入学まで」との回答が35%、「小学校低学年まで」が53%であり、年少児の今まさに読み聞かせに取り組んでいる最中という家庭でも「小学校低学年まで」がひとつの区切りと受け止められているようである。

**6 - 3 . 5で「よくある・時々する」と答えた人へ。主に読み聞かせをするのは誰ですか**  
年少児の読み聞かせをしている家庭において、「母親」とするのが54%、それに続くのが父(23%)、祖父母(18%)となり、「読み聞かせ」まっただ中の年少児の家庭では、父親の占める割合も相対的に大きくなっているようだ。

**8 . 5で「よくある・時々する・今はしていない(かつてしていた)」と答えた人へ。お子さんに初めて本を読んであげたのはいつですか？**

この設問は、読み聞かせをしている家庭と比較的読み聞かせに積極的であったが現在は読み聞かせをしていない家庭のうちで、何歳頃から読み聞かせを開始したかを問うもので、小平町では10か月検診時にブックスタートを実施していることからブックスタートの成果もあわせてみようとするものである。年少児では「0歳」～「1歳」で43%、「2歳」で57%と言う結果となった。きっかけについては、詳しくは後述のアンケート集計を参照されたい。

**9 . どうすれば子どもがもっと本を読むようになると思いますか**

年少児では「読み聞かせの機会を増やす」29%、「図書室(館)や書店につれていく」22%、「家庭で本を話題にする」の18%、「大人が本を読む(読んでいる姿を見せる)」11%、「学校で本を読む時間を増やす」と「テレビやゲームの時間を減らす」が同率の9%の順だった。年少児の保護者では「読み聞かせ」や絵本の実物に触れることが出来る「図書室(館)や書店」に対する期待が強いと言える。

**10 . 文化交流センターや鬼鹿公民館図書室の利用について、意見や提案があればお書き下さい。**

図書室の運営について課題を探るための設問。後述のアンケート集計を参照されたい。



# 子どもの読書活動に関するアンケート(幼稚園年少児保護者)

1. お子さんの年齢を教えてください	3歳	6	
	4歳	12	
2. お子さんの性別を教えてください	男	11	
	女	7	
3. 子どもが読書をすることは大切だと思いますか?	思う	18	
	あまり思わない	0	
	思わない	0	
4. 家庭の中で子どもが読んでいる本、子どもに読ませる本について会話をすることがありますか?	ア. よくある	3	
	イ. 時々ある	12	
	ウ. あまりない	2	
	エ. ない	1	
5. ご家庭で読み聞かせをしていますか。	ア. よくする	6	
	イ. 時々する	10	
	ウ. 今はしていない(かつてはしていた)	0	
	エ. あまりしていない	2	
	オ. していない	0	
6-1. 5で「よくする・時々する」と答えた方へ質問します。読み聞かせの頻度は、どのくらいですか?	ア. 毎日	5	
	イ. 週に3~4回	2	
	ウ. 週に1~2回	8	
	エ. 月に2~3回	2	
	オ. 月に1回	0	
6-2. 5で「よくする・時々する」と答えた方へ質問します。お子さんにいつまで読み聞かせを続けてあげたいと思っていますか?	ア. 幼稚園入学まで	0	
	イ. 小学校入学まで	6	
	ウ. 小学校低学年まで	9	
	エ. 小学校高学年まで	1	
	オ. 中学校まで	1	
6-3. 5で「よくする・時々する」と答えた方へ質問します。主に読み聞かせをするのは誰ですか?	ア. 祖父母	4	
	イ. 父親	5	
	ウ. 母親	12	
	エ. 兄弟	0	
	オ. 近所の人	0	
	カ. その他	1	
	その他を記入		
	・叔母		

7. 5で「よくする。ときどきする・今はしていない(かつてしていた)」と答えた方に質問します。お子さんに初めて本を読んであげたのは何歳ぐらいの頃でしたか。そのきっかけについても教えてください。	ア. 0歳	4	
	イ. 1歳	5	
	ウ. 2歳	12	
	エ. 3歳	0	
	オ. 4歳以上	0	
	きっかけを記入(自由筆記)	1	
	<p>・夜寝る時に本を読みながら寝ているから。 ・お祝いに絵本をもらったので</p> <p>・ブックスタートもきっかけですし、育児について勉強したときに絵本が良いとみて、コミュニケーションはもちろん、言葉や集中力を養えると思います。1日主に3~5冊寝る前に読んでます。</p> <p>・寝る前に読んであげると満足して寝付きがよくなったのでそのまま習慣になった</p> <p>・自分で持ってきた ・生まれる前から用意をしていたので</p> <p>・上の子に読んでいたので一緒に聞いていた。保育所でも読んでくれていた。</p> <p>・家にお姉ちゃんが赤ちゃんの時に読んであげていた本があったから</p> <p>・読み聞かせは大切だと思うので</p>		
9. どのようにすれば子どもがもっと本を読むようになると思いますか。選択肢から3つ選んでください。	ア. 家庭で本を話題にする	10	
	イ. 図書館(館)や書店に連れて行く	12	
	ウ. 読み聞かせの機会を増やす	16	
	エ. テレビやゲームの時間を減らす	5	
	オ. 学校で本を読む時間を増やす	5	
	カ. 大人が本を読む(読んでいる姿を見せる)	6	
	キ. その他	1	
<p>その他を記入(自由筆記)</p> <p>・朗読テープは効果的だと思います。</p>			
10. 文化交流センターや鬼鹿公民館図書室の利用について、ご意見・ご提案があれば記入下さい。(自由筆記)	(小平)・図書館は親切にして頂き、おすすめの本等も教えて頂きとても行きやすく毎月(2回)通ってます。		
	(鬼鹿)・まだ利用したことが無い ・鬼鹿公民館の図書室にもっと本を増やして欲しい。		



## 小平町子ども読書推進計画

平成24年3月

小平町教育委員会

〒078-3301 北海道留萌郡小平町字小平町

356番地2(社会教育課)

0164-56-9500